



【発行所】
 独立行政法人国立病院機構 岩手病院
 岩手県一関市山目字泥田山下48
 Tel : 0191-25-2221
 Fax : 0191-25-2157
<http://www.hosp.go.jp/~iwate>
 発行責任者 櫻井 誠

「看護の日 ふれあい看護体験」を開催して

1 病棟 副看護師長 懸田 恵

看護の日にちなんで全国各地で様々なイベントが行われています。岩手病院では患者さんとのふれあいを通して看護や人の命についての理解と関心を深める目的で、5月16日に「ふれあい看護体験」を開催しました。

「将来看護師になりたい」「看護に関心がある」などと考えている11名の高校生が各病棟で血圧測定や食事介助、患者さんと一緒に車椅子での散歩などを体験しました。看護体験後、「患者さんとたくさん話をして楽しかった」「今回の体験でさらに看護師になりたい気持ちが強まった」「人と触れ合うことの大変さや楽しさを実感した」「やりがいのある

看護の仕事に魅力を感じた」等たくさんの感想が寄せられました。

今回参加していただいた生徒のみなさん、ありがとうございます。このイベントで患者さんと生徒さんたちのあふれる笑顔がとても印象的でした。来年もふれあい看護体験に、たくさんの方々に来ていただけることを楽しみにお待ちしております。



院内カンファレンス「メンタルヘルス研修」を開催して

外来看護師長 佐々 知恵

6月13日、岩手県立南光病院精神科認定看護師の千葉美千恵先生をお招きして「医療従事者のメンタルヘルス対策」の研修を開催しました。

近年、ストレス社会と言われる時代の中で、年代別や性別で抱える悩みやストレスが違うこと、その中でも医療現場での環境要因などの説明がありました。まずは、ストレスを知ること、自分自身のストレスに気づくこと、そしてストレスをセルフコントロールできるようになることがメンタルヘルス維持の第一歩になります。

職場での自分の役割として、メンタルヘルスの対策について学んだことを活かして、より良い職場を目指したいと思います。

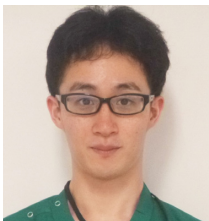


院内カンファレンス 腰痛予防について

リハビリテーション科 理学療法士 中嶋 健太

5月9日、腰痛予防をテーマに院内カンファレンスを開催しました。

病院職員は同じ姿勢や中腰姿勢で働く場合が多く、腰痛になりやすい環境にいますので、自分で腰痛になりにくい体・腰痛が治りやすい体にしていく事が大切です。そのため、腰痛体操を中心に、



日常業務を行いながら行える「ながら体操」を実技を踏まえながら説明しました。また、病院スタッフの多くが使用している腰痛ベルトやコルセットの使用方法等についても説明しました。腰痛ベルトやコルセット使用上のメリット・デメリットを知ってもらい、正しい知識を持って使用していただき腰痛予防につながればと思います。

今回の研修で腰痛に悩むスタッフが少しでも減れば幸いです。

「訪問看護研修」を開催して

2病棟 看護師長 千葉 智睦

訪問看護を始めるには何を準備すればよいのだろう。

チームの全員が暗中模索の中、一関訪問看護ステーションわかば所長の瀬戸先生をお招きし、研修を開催しました。訪問看護の経験を語っていただき、生の声から学ぶことがとても多くありました。

瀬戸先生の講演の中で「医療と生活を共存できるように支援することが看護師の役割」という言葉が心に残っています。準備するものは物品ではなく、見て感じて実行する看護師の心構えなのだと感じました。少しでも安心して自宅で生活できるように“患者”ではなく一人の“生活者”として対象を見つ

め、共に悩み・喜べるような看護を提供していきたいです。



訪問看護プロジェクトチーム

「国立病院ソーシャルワーカー協議会全国研修会」に参加して

地域医療連携室 医療ソーシャルワーカー 鈴木 直美

5月10日、東京医療センターで開催された「国立病院ソーシャルワーカー協議会全国研修会」に参加しました。

面接技術についてのワークショップでは、目的や状況に応じた言葉の選び方を学びました。グループワークで



は、虐待ケースや困難事例への介入方法などについて他病院の医療ソーシャルワーカー（MSW）と有意義な情報交換をすることができました。

今回の研修で特に印象深かったことは、国立病院機構前副理事長古都氏の講演での「MSWには人の生を全うさせる支援を最適化する使命がある」という言葉です。MSWとしての役割を果たせるよう、日々の業務に真摯に取り組んでいきます。

「第68回医学検査学会」に参加して

研究検査科臨床検査技師 前田 健太

5月17日から19日に山口県下関市で行われた本学会にて「CONUT法導入に向けた検討」を口演発表しました。

栄養不良の指標としてアルブミン値の低下が広く使われていますが、アルブミン値の低下がみられない栄養不良患者が少なからず存在するため、十分な栄養評価が



出来ておりませんでした。今回、CONUT法という栄養評価方法を使用することにより、アルブミン値が有意に低下する前から栄養不良患者を抽出することがわかりました。栄養不良は病気や脳卒中後遺症などの回復を遅らせるため、早期に栄養不良を発見することはとても重要です。

これからも、より良い栄養評価のために研究検査科から情報を提供していきたいと考えています。

永年勤続表彰を受けて

放射線科撮影透視主任 穂積 彰

この度、永年勤続20年を表彰していただき、心より感謝申し上げます。この日を迎えることができたのも、数多くの周りの方々のご指導とご支援の賜物と思えます。

例えば、20年前国立仙台病院（現仙台医療センター）に入職し、診療放射線技師としての一歩を踏み出しました。その年には2000年問題があったことを強く記憶しています。その後は、米沢病院、福島病院、そして現在の岩手病院とこれまで4県4施設にわたって勤務をしました。20年前の自分から現在の自分は見えるのか、どれくらい成長しているのか。この節目にそんな事を考えています。

まだまだ学ぶ事が多い身ではありますが、少しで

も地域医療に貢献できるよう努力していきますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



永年勤続表彰 20年受賞者

左から 穂積 彰 撮影透視主任
 櫻井 誠 副院長
 平野 貞夫 外科医長
 佐々 知恵 看護師長

着任のごあいさつ

副看護部長 千葉 洋子

仙台医療センターから昇任で異動して参りました千葉と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。4月1日には雪が降り驚きました。初日から遅刻してられない、新採用者を笑顔で迎えなきゃと出勤した日から早3ヶ月が経ちました。



岩手病院との縁は、看護学校が国立仙台病院（現：仙台医療センター）附属だったことから始まり国立仙台病院に就職、その後自宅から近い岩手病院に転勤しました。その後、仙台西多賀病院、仙台医療センターに勤務し、今回2回目の岩手病院勤務ですが、懐かしいというより全く違った病院に来たような感じがしております。それは、新病棟の建て替えと障害者施設等入院基本料7：1の取得が大きく関与していると思っています。新病棟は6階建てで病棟の病床数も全て50床になり、看護職員は約210名おります。また、以前一緒に勤務したスタッフは数名となり、若いスタッフが増え、スタッフの名前を覚えるのに必死だからかもしれません。

一方、看護師長は、今までの病院で一緒に勤務した方が多く、非常に心強く思っております。副看護師長も、新採用者看護技術研修の企画・運営、ふれあい看護体験（→本号第1頁）での活動など、役割認識をもって行動していると感心しています。6月には東北厚生局の適時調査があり、看護師長をはじめ職員の皆様に多大な協力をいただきました。無事、終了したことに安堵しております。

さて、看護部では、障害者施設等入院基本料7：1を昨年取得し、排痰ケアや口腔ケア、転倒転落予防等看護の質の向上に向けて取り組んでおります。今年度は、退院前・後訪問や訪問看護の導入に向けプロジェクトを立ち上げ活動を始めました（→本号第2頁）。この地域は、65歳以上の高齢化率が35%以上と高く、訪問看護ステーションも決して多いとは言えません。神経筋疾患看護および人工呼吸器管理の知識・技術の強みを活かし、患者さん家族が地域で安心して生活できるように地域社会にも目を向けていきたいと思っております。

今後も、岩手病院の発展に努力していきたいと思っておりますので、ご支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。

新職員紹介 ①出身地 ②好きなこと ③何か一言

令和元年6月10日付異動



しまぬき かよ
島 加代 事務助手

- ①一関市山目
- ②パワースポット巡り、ヤフオク
- ③一日も早く仕事に慣れ、患者さん、スタッフの皆さんのためになるよう張り切っていきます。



診療体制 (令和元年7月1日現在)

診療科		月	火	水	木	金
脳神経内科	午前(再来)	豎山	工藤 ※物忘れ外来、頭痛など	千田(圭)	千田(光)	今野
	午前(新患)	千田(光) (第1、3) 今野 (第2、4)	阿部	豎山	小野	千田(圭) ほか
	午後	※HAL外来 今野 (第1、3、5週)				※リウマチ科 千葉(実) (最終金曜)
呼吸器内科		芦野	櫻井	芦野・森 (禁煙外来)	櫻井	芦野
内科		櫻井 予約者のみ		櫻井 予約者のみ	阿部	佐藤(良)
外科		平野 予約者のみ	平野		平野	
小児科			田澤		仙台医療センターから (月2回 第2、4)	※重症心身障害 大沼
リハビリテーション科		佐藤(智) ※ボトックス外来、AGA外来など			宮	
歯科		佐藤(敦)	佐藤(敦)	佐藤(敦)	佐藤(敦)	
その他	※予約に関するお問い合わせは14:00～15:00にお寄せ下さい。 ※専門外来は、すべて予約制です。 ※予防接種は、火・木9:00～11:00に完全予約で行います。			※心療内科 伊藤 ※消化器内科 仙台医療センターから ※アレルギー科(第2週) 千葉(友)	※皮膚科 東北大学から	※循環器内科 羽根田 (第1、3週)

職場紹介 — 中材・手術室 —

中材・手術室は看護師1名と業務技術員1名が勤務しています。主な業務は外来や各病棟で使用する衛生材料の管理、医療機器の洗浄・滅菌、払い出しです。その他に毎週病棟を巡回し、ガーゼ

や注射器など、職員が使用する物品を補充しています。患者さんと接することは少ないですが、患者さんの処置や治療に必要な物品を管理している部署です。安全で安心して使用できる物品を提供できるように日々頑張っています。

中材・手術室看護師長 但木 淳子



人事異動

- 【令和元年6月10日付】採用
島貫 加代 事務助手
- 【令和元年6月30日付】辞職
木村 勇一 看護師
藤澤香奈枝 看護師
- 【令和元年7月1日付】配置換(転出)
佐々木 玲 看護師 釜石看護師へ



【編集後記】今年の5月は本当に5月なのかと思う程暑い日が長かったので、梅雨はどうなるのかなと思っていましたが、それなりに梅雨らしい日が見られています。7月号が発行される頃には梅雨明けも近づきよいよ夏到来? 例年よりさらに猛暑になるのは勘弁願いたいものです。とはいうもののお天道様にはかないません。皆様、熱中症にならないよう十分な対策をしましょう。(S.S)